

事業主活用事例

ポリテクセンター静岡

1. 利用事業主の概要

● 株式会社山西製作所

- ・所在地 : 静岡県牧之原市
- ・従業員数 : 19人
- ・事業内容 : 金属精密切削加工、研削加工

2. 支援の概要

把握した課題と要望

- 課題
 - ・品質の精度向上を図るため、従業員の品質に対する意識付けと品質管理に関する実践的な知識向上を浸透させる必要がある
 - ・従業員一人ひとりがミクロン単位の品質精度を求められる業務環境を心身共に受け入れることができる環境づくりが必要
- 目標・要望
 - ・従業員の業務に対するモチベーションアップを図りたい
 - ・少数精鋭化のために能力アップを図りたい

提案内容と利用した訓練

- 提案内容
 - ・現場で日々接する加工品の精度分析をするためのQCデータ分析ツールを駆使し、結果をフィードバックできるスキルを身につけられるように演習をメインとし、品質管理の重要性を業務の中で自覚できるような訓練を提案
- 利用した訓練
 - ・訓練コース名 : 品質管理基本
 - ・訓練実施時期 : 平成30年4月～5月
 - ・訓練実施機関 : NPO法人SDC検証審査協会
 - ・受講者数 : 5人

訓練を利用した成果

- 現場の意識に変化がみられた
- 新規の製品のライン立ち上げ時に訓練で学んだ手法を活かし、問題点の発見、解決につながった
- 同手法を活かした製品の精度検証結果を顧客へ提供することが社内に定着した結果、顧客からの信頼度が増し、受注が増加した

3. 利用者の声

株式会社山西製作所 利用事業主の声

Q：訓練を利用したきっかけについて、教えてください

A：取引先から、受講にかかる費用が安く、事業所のニーズを踏まえたピンポイントのテーマで受講できるという生産性向上支援訓練の情報を知り、課題解決の一環として同訓練に興味を持ち、ポリテクセンター静岡に相談しました。当社では、従業員数が19名と小規模であることから、就業時間中にライン操業に負担をかけずに自社内で受講できる点は大きな魅力でした。

また、当社の課題解決に特化した内容であったことも大きな要因で、訓練の利用を決めました。

Q：訓練を利用した感想と、現場でどのように活用されているか、お聞かせください。

A：受講した結果、緻密な管理をするなど現場での意識変化が見られ、一定の成果が得られたと思います。具体的には、新規の製品のライン立ち上がり時に今回学んだQCスキルを活かしたことにより、問題点の発見・解決につながりました。

現在受注を受けている案件についても、同手法を使ってデータを解析し、報告資料を作っているところです。新規の受注時には製品の精度検証結果のデータを取引先に提出することが社内で定着し、取引先からの信頼度も増しました。

Q：今後の抱負をお聞かせください

A：生産性向上支援訓練は他の従業員にも良い影響をもたらすと期待しています。今後、学んだ品質管理手法を社内全体に浸透させて対外的な信頼度を向上させ、かつ、従業員のモチベーションも向上させていきたいです。

また、今回の訓練の受講結果が良かったので、来年早々に生産工程管理のコースを受講させたいと考えています。



代表取締役社長 紅林さま

株式会社山西製作所 訓練受講者の声

Q：訓練を受講した感想をお聞かせください

A：今回受講した訓練では、実際の現場のデータを使用してQC7つ道具の手法を学びました。場面ごとのQCスキルの使い分けを身につける実践的なカリキュラム内容であり、分析手法の使い分けが自分なりに習得できたと思います。

Q：訓練で習得したことをどのように業務に活用していますか

A：習得した手法を活用して取引先に製品データの解析結果を提供したところ、高い評価を得られ自信につながりました。

今後は、より発展的な品質管理手法を身につけ、取引先に喜ばれる仕事をしていきたいです。



企業外観

⑦ 有限会社岡田商店

- ・所在地 : 鳥取県境港市
- ・従業員数 : 85名
- ・事業内容 : 小売業 (スーパーマーケット)

1. 支援の概要

把握した課題と要望

- 課題
 - ・働き方改革や生産性向上を意識した人材育成が課題
- 目標・要望
 - ・従業員の多くが自社の商品、サービスのセールスポイントを最大限に活かしていないため、顧客が求める提案方法を身につけさせたい
 - ・商品が売れただけで満足している従業員が多く、利益管理も念頭に置いた販売を身につけさせたい

提案内容と利用した訓練

- 提案内容
 - ・要望に基づき、「マーケティング志向の営業活動の分析と改善」を提案し、カリキュラムの一部をカスタマイズ
- 利用した訓練
 - ・訓練コース名 : 「マーケティング志向の営業活動の分析と改善」
 - ・訓練実施時期 : 平成31年1月
 - ・訓練実施機関 : 株式会社インタープロス
 - ・受講者数 : 21人

訓練を利用した成果

- 社員が具体的な目標を持って仕事に取り組むようになった
- 普段関わらない社員同士が互いの意見を聞き、考えることで、意欲が増した
- 社員の意欲や各店舗間・ライン間での情報共有などが飛躍的に改善された
- 目標設定が明確になり、結果として、商品の仕入れなどでムダ・ロスが減った

2. 利用者の声

有限会社岡田商店 利用事業主の声

Q：訓練を利用したきっかけについて、教えてください

A：当社は小売業（スーパー）を境港、米子エリアで現在5店舗を展開しています。研修前、働き方改革や生産性向上の流れの中、長時間労働からの脱却が課題となっていました。

忙しい中、現場スタッフが手薄になることへの心配もしましたが、受講させてすごく良かったと思っています。

Q：訓練の成果は職場でどのように活かされていますか？ また、今後の抱負をお聞かせください

A：研修後、ある初任者クラスの社員を見ていると、意欲的に行動するようになって、日々努力を続ける姿を見るのが何よりうれしいです。部下に対して責めるばかりだった中堅管理者クラスの社員は、まるで別人のようにマネジメントが改善しました。

また、研修後に受講者全員と面談し、研修で学んだ目標設定の立て方を活用し、自己管理することを始めました。半年ほど経過し、社員の意欲や各店舗間・ライン間での情報共有などが飛躍的に改善されたと思います。

社員の団結力も生まれ、この厳しいご時世でも社員の頑張りが大きくプラスに影響し、売上・利益ともに順調に推移しており、経営者として本当にホッとしています。今後も機会があれば是非生産性向上支援訓練を利用したいと思います。



常務取締役 岡田さま

有限会社岡田商店 訓練受講者の声

Q：訓練を受講した感想をお聞かせください

A：受講者のレベル差もあったと思いますが、研修では個々の長所に目を向け、それを伸ばすような内容だったのでとても良かったと思います。

一緒に受講した若手社員を見ていると、以前は取組み方が曖昧だったのが目標設定が明確になり、結果として、例えば商品の仕入れなどでムダ・ロスが減り、売上も伸びました。自然と前向きになり、いきいきと取り組むようになりましたし、中間管理者側としても、部下の指導がしやすくなったと思います。

社員が成長することで、お客様により良い商品とサービスを提供し、地域に愛される岡田商店を目指して頑張りたいと思います。



本店青果部門担当 永見さま

1. 利用事業主の概要

● 株式会社四国にぎわいネットワーク

- ・所在地 : 香川県高松市
- ・従業員数 : 39人 (うちパート従業員30名)
- ・事業内容 : 道の駅 (道の駅源平の里むれ、道の駅みろく) 運営

2. 支援の概要

把握した課題と要望

● 課題

- ・日々の忙しさに追われ、自身の現場しか見えていない仕事環境の中で、お客様を迎えるにあたり当たり前のことも出来ていない現状をなんとか解消したい
- ・人材募集をしてもなかなか採用が困難な状況のなかで、現在いるメンバーの仕事の改善、生産性向上が大きな課題となっている
- ・目標に対する適正な人件費と人員配置を現場で認識することが必要

● 目標・要望

- ・従業員とともに課題と向き合い、さらなる成長を目指していきたい
- ・労働時間を少しずつ短くしていきたい
- ・地域の人材が地域の発展のために貢献できるやりがいのある職場として、成長させていきたい

提案内容と利用した訓練

● 提案内容

- ・仕事の改善を続けるために部外の専門家の意見を得ながらリーダー人材などメンバーを巻き込んで考えていくことが効果的であり、生産性向上支援訓練を計画的に活用すること、人材育成を継続することで働きやすい環境を創ることを提案

● 利用した訓練

- ・訓練コース名 : 業務効率向上のための時間管理
- ・訓練実施時期 : 平成30年2月～3月
- ・訓練実施機関 : 株式会社パワーネット
- ・受講者数 : 9人

訓練を利用した成果

- 日次売上げデータが仕入れ先に直結するシステムの導入にあたり、訓練受講の効果により社員の合意が容易に得られ、導入後は時間短縮につながった
- 社員の時間管理の認識が高まり、パートの退社時刻が明確になって労働時間が減った

3. 利用者の声

株式会社四国にぎわいネットワーク 利用事業主の声

Q：訓練を利用したきっかけについて、教えてください

A：当社は、「道の駅源平の里むれ」「道の駅みろく」を運営して地域のにぎわい作りに取り組んでいる会社です。

日々の忙しさのあまり、時間に追われ自身の現場しか見えていない仕事環境の中で、お客様を迎えるにあたり当たり前のことも出来ていない現状をなんとか解消したいと思い、創立10周年を機に「業務効率向上のための時間管理」を利用しました。

Q：訓練を利用した感想や、受講した効果をお聞かせください

A：訓練を使用した感想としては、講師の第三者的意見が良かったことと、時間の使い方をみんなで理解することができ、社員個々のくせを見直すことができた点が良かったです。

訓練を受講後、職場では日時売上げデータが仕入れ先に直結するシステムを導入するにあたり、講習の効果により社員全員の合意が容易に得られ、導入後は時間短縮につながった、社員の時間管理の意識が高まり、パートの退社時刻が明確になって労働時間が減った、等の効果がありました。

Q：今後の抱負をお聞かせください

A：今は個々の仕事を時間管理に落とし込めるところまではできていませんが、今後は、お客様との交流を高めていく事業企画、商品開発など将来像が考えられるような研修を活用し、社員一人ひとりがいきいきと仕事ができるよう模索中です。



代表取締役 難波さま (写真右)
総務担当 川畑さま (写真左)

株式会社四国にぎわいネットワーク 訓練受講者の声

Q：訓練を受講した感想をお聞かせください

A：社員全員が会社を出て別の場所で話し合う機会が得られ、有意義な時間だったと思います。

また、講師の上手な誘導により全員が発言する機会があり、他の受講者の別の面が見られたことも良かったです。メンバー皆が積極的に発言し、普段あまり聞けない意見を聞いて良い刺激を受けました。

訓練では、「時間」を書き出す作業を行いました。書き出すことで改めて目で確認することの重要性を認識し、これまで気づかなかったことを冷静にみることができました。

時間管理の一環として、今後は引き継ぎ漏れや引き継ぎに要する時間の短縮をするため、フォーマットも含めて標準化したノートを作成し、スムーズで効率的な伝達をチーム内でやっていきたいと考えています。

機会があればこのような訓練を今後も受講できたらと思います。



訓練風景